



題字：榎村正直

平成十八年五月二十日発行  
 明倫自治連合会広報委員会  
 発行部数2000部

# 平成18年度自治連合会総会のご報告

平成十八年度自治連合会総会が京都芸術センター講堂で開催され、全二十七カ町の内、委任状提出の四町を含め、参加町数は二十六カ町でした。

吉田会長の挨拶に引き続き、消防、遺族会などの新しい代表ご紹介と事業の報告が井上総務からなされました。

続いて十七年度決算が市田会計から報告され、川崎会計監査の監査報告のあと、承認議決されました。その後、十八年度の予算、地区計画の報告が続き承認議決されました。

また、連合会への負担金改定について試案が動議されましたが、様々な意見があり、総会において決議する段階に至っていないと言うことで、各町内へ持ち帰り、町内会討議を経て、今年度中に臨時総会を開いて決定する次第となりました。

ご存じのように、明倫学区は京都市の中で最も世帯数が増加した地域です。また烏丸通は京都の中心街で、室町通は大規模マンションにより世帯数が急激に増加しています。

昨今の子ども達への防犯、交通、登下校時の安心安全を地域の力によって守らねばなりません。

明倫学区は十三の山鉾町を有しており、京町家の風情を残し、最近観光客が急増する新町通り界限など、「地域として風格あるまち」を創り上げてはなりません。

また、自治連合会館も正式に京都市と使用契約を交わし、電気代などの維持経費も必要となってきました。

しかるに、会計報告によれば毎年二十数万の赤字が発生しており、負担金の増額が緊急課題となつて来ております。去年も町内会長さんを通じ改定依頼をしておりますが、未だ決議を出れない状態であります。

どうか次回の臨時総会でご承認頂けるようお願い申し上げます。

(記 総務 井上)



総会の様子

## 負担金改定のお願ひ

(自治連合会十八年度総会提出試案)

近年の自治連活動に対する資金不足、急激な世帯増加による各種委員会活動の赤字など、資金障害が目立つたため、恐縮ですが各町内からの自治連合会への負担金の増額をお願い申し上げます。

原則として公平・明文化することを目指します。また、解りやすくするために、「町割」と「戸数割」とに分けて算出基準を決定します。

その際、烏丸通に面する四町とそれ以外の二十三町について、町割負担額をそれぞれ十万円と七万円(年)とするようお願いしています(烏丸通りは事業所が多いため、人的支援よりも、金額的ご負担の方で支援をお願いしたいという理由から)。

また、戸数割については、一戸当り五百円・年をお願いしています。現在町会費を負担されている戸数を把握するため、町会長に申告を依頼いたします(事業所・マンション棟数・全戸数を把握するため)。

以上により、現状負担額よりマイナスとなる場合は据え置き、五万円以上の増額となる場合は、上限を五万円にします。

このような根拠により、3頁の自治連合会試算を出しました。次年度よりどうか宜しくご協力のほどお願い申し上げます。

平成十八年度 役員

会長 吉田孝次郎 (六角町)
副会長兼任
会計 市田昌生 (炭之座町)
総務 井上成哉 (三条町)
会計監査 井上高明 (骨屋町)
川崎栄一郎 (三条町)

市政協力委員会

委員長 山田浩三 (六角町)
委員 中島正博 (饅頭屋町)
大原 修 (七観音町)
衣川雅喜 (手洗水町)
今西太一 (拳町)
荒田浩司 (烏帽子屋町)
尾江誘紀 (鯉山町)
村中正明 (山伏山町)
猪田浩市 (菊水鉾町)
池垣祐喜子 (了頓図子町)
奥野和美 (観音堂町)
増田和昭 (三条町)
奥村 剛 (百足屋町)
吉野隆光 (小結棚町)
市田昌生 (炭之座町)
林 里美 (御倉町)
橋田 一郎 (衣棚町)
高木公子 (釜座町)
柴田光雄 (骨屋町町)
竹尾総一郎 (玉蔵町)
桂川俊一 (西六角町)
垣尾秀彦 (橋弁慶町)
安田貴子 (姥柳町)
竹内伊佐夫 (不動町)
松田秀尾 (占出山町)
古川 晃 (天神山町)
正木慶子 (西錦小路町)

各種団体 委員長・会長等

社会福祉協議会 寺江信子 (六角町)
民生児童委員会 八田典子 (炭之座町)
共同募金委員会 伊藤俊子 (天神山町)
日赤奉仕団 岸本克啓 (小結棚町)
保健協議会 井上 清 (釜座町)
消防分団 吉屋章一 (骨屋町)
防犯推進委員協議会 浅見儀明 (鯉山町)
少年輔導委員会 島田紀久雄 (百足屋町)
体育振興会 北川道裕 (百足屋町)
文化協議会 小西満寿子 (百足屋町)
祭事委員会 中尾金次郎 (天神山町)
平安・八坂婦人会 岸本波留子 (釜座町)
遺族会 吉屋圭一 (骨屋町)
婦人会 玉井俊子 (西錦小路町)
交通安全委員会 井上高明 (骨屋町)
明寿会 五藤耕之助一 (西錦小路町)

京都御池中学校新校舎完成!

二十一世紀に入り京都市で初めて建設された中学校、京都御池中学。三月十二日、御池柳馬場に校舎が新築され、四百二十五名もの中学生が新しい校舎に入りました。

十四学区で作る「御池会」から体育館の緞帳が贈られました。新校舎は京都御池創生館と名付けられ、御池通りに面して進々堂のパンショップ、イタリアレストランなど3店がオープンしています。同時に老人デイサービスセンターや保育所も併設されています。

京都御池中学校では「輝きあい、育ちあう、魅力あふれる」教育をめざし、より地域と共に手を携えあつての教育方針を策定、「けやきプロジェクト」として活動されています。

現在、明倫学区からは二十四名の中学生が通っています。各学区にも「けやきプロジェクト便り」として毎月の広報紙が配布されており、ぜひお読み下さい。



京都御池中学校新校舎

地区計画の方針(案)を京都市に提出

皆様とともに明倫自治連が平成15年度から取り組んできました「地区計画の方針(案)」づくり、この間の「意見」などを集約し、去る3月30日付で京都市長宛に計画案を提出いたしました。



大島都市計画局長に計画案を提出する吉田会長

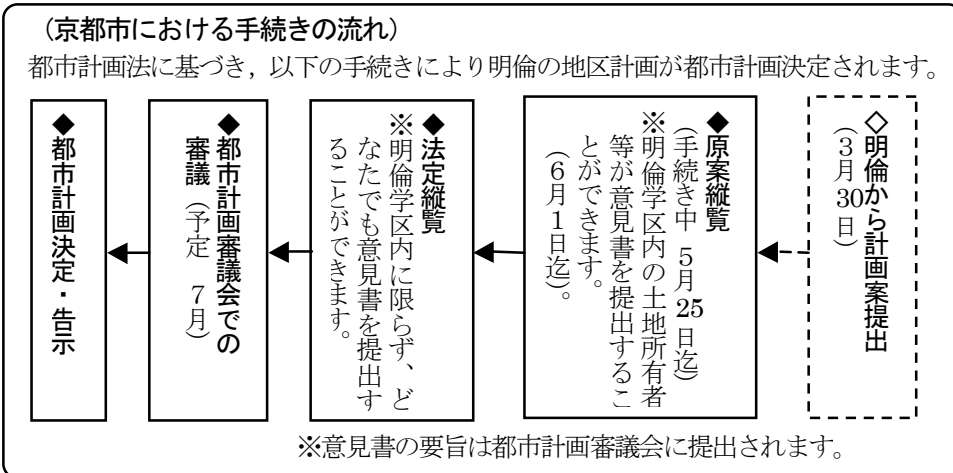
明倫・まちづくりの目標と方針 都市計画決定へ!

アンケートへのご回答、意見交換会へのご出席など、学区民のみなさまのご協力に厚く御礼を申し上げます。

この「地区計画の方針(案)」は、明倫学区の「まちづくりの目標と方針」を定めるもので、「祇園祭を受け継ぐ、風格のあるまち、商いと暮らしが響き合うまち、明倫」の実現を目指し、地域に愛着と誇りを持ち、文化が薫るまちの個性と魅力を高める。

- 商いと住まいの共存を図り、風格のある美しい街並みをつくる。
○だれもが安全・安心に暮らせ、交流豊

かなコミュニケーションをつくる。ことを目標としております。5月1日付で皆さんにお知らせしたように、この後、京都市における所定の手続き(縦覧など、図参照)を経て計画決定・告示が行われる予定です。



★問い合わせ先
京都市 都市計画課(北庁舎2階)
TEL (222) 3505



# 町内探訪

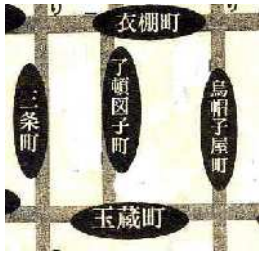
## 第十二回 玉蔵町

西洞院から六角新町の急な坂を、山積した荷台を引いた馬が荒い息を吐きながら登って来た時代、町の東角に人力車の溜め場があり、車夫が待機していた大正末期に玉蔵町に移り住んだのが九才の頃でした。

玉蔵町一帯は安土桃山時代の茶人 広野了頓邸の跡地で豊臣秀吉もこの地を度々訪れたとか。六角通が表門で徳川將軍の御成門があり、町内の中程の三条通に抜ける通りは無かったそうです。

玉蔵の名はその頃からの地名としてあり、現在の了頓子町は中程迄表通が玉蔵であった為、玉蔵了頓と言っていたとかで明治以後に三条まで通りぬけが許されたと言います。

町内南側には町家風商家が並び北側は小商売の家がありました。戦時中は疎開される方、引越される方で空き家が多く、ひっそりしていた様です。終戦後大商家には二十人、三十人と住込み店員、



通勤店員さん等五十人、百人のお店で賑わいました。町内にも戦後のベビーブームがあり、各家庭に二人

三人の子供達も増え、昭和三十年代の夏休みはバス一台をチャーターし、毎年海水浴に行くのが子供達の楽しみでした。その子供達も今は五十代、六十代と生まれ、町内には、子は一人も居られず昭和四十年頃から子供、青年ゼロ人という現象が今も続き、高齢者ばかりで学区の行事もお手伝いも出来ず、片身の狭い思いです。



平成時代に入り、大商家も五階四階建てのビルに改築され、ワンルーム二棟も出来、次々変わる会社名に淋しく感じる昨今、昼間の人口と夜間の人口が三分の一となり心細さを感じます。

百年前より玉蔵を支えてくださった先代も故人となられ、ビルの上から眺められているでしょう。玉蔵町には昔から言い伝えられた行事も何も無く、今日まで町内に事故も火災も無く平穩に過ごされたのが誇りではないでしょうか。年頭に会計報告を兼ねた親睦食事があり、会社代表、一般家庭の方々も参加するのが唯一の行事です。何年先になるか判りませんが、一人息子がこの地に戻り、地域のお手伝いが出ることを念じています。

玉蔵町 田和

## 第七回 ライオンズマンション室町三条



所在地 室町通三条下る烏帽子屋町482番地  
マンションの特徴

ライオンズマンション室町三条は平成十(1998)年二月から入居が始まり、鉄骨・鉄筋コンクリート造地上十一階建て、総戸数三十四戸で、比較的小規模なマンションです。

エントランスは入居当初からオートロックですが、その数年後防犯面を強化するため防犯カメラを設置、また、日常生活の利便を考慮して宅配BOXを設置しております。

管理組合は、年に一回定期総会を開催、理事会は不定期ですが年に数回開催し、いろいろと協議しております。

特に、

- 防犯カメラ、
- 宅配BOXの設置や
- 光ファイバーの導入等は、アンケートによる



全員の意識調査や臨時総会を開催し、全員がよりよい住環境を目指して意見交換を行い各種設備の充実につとめております。

管理員は、火曜日と金曜日は8:30~17:30、その他の曜日は近隣と掛持ち、土曜日は8:30~12:00勤務。児童は1~2人で主だった行事はありません。

### ◆ 町内会・祇園祭・自治連合会との関り

町内会に対しては管理組合として町内会費を納めており、各種行事への参加は各個人(個人)の自主性を重んじております。祇園祭や明倫自治連合も現在は個人参加ですが、管理組合としての取組み等は今後の課題です。

記 管理組合



## 第十五回 『二月 お正月』

新年最初の夜話は、「年の始め」の参加者全員による斉唱で始まりました。明倫学区の女性にお集まりいただきお正月の思い出などをお話いただきました。

お正月の準備や「ことはじめ」について、年をこえて、元旦の家族での挨拶、お年始周り、お雑煮のことなど、盛りだくさんの話題で楽しい時間を過ごしました。



お正月の祝い方で話が弾む

その折、お椀の話題になり、なぜ男性が赤い色で、女性が黒なのかという疑問が出ました。

先般、橋弁慶山町的那須さんから資料(岩上力著)を頂きました。それによると、赤い色を塗ることによってただの器に魂を吹き込み、その器を生あるものとして大切に扱ってきたこと、また、赤い色は人間の血液を表現したものと説明が載っていました。女性の黒は、黒色を女性とした陰陽道の思想からきているのか、何度も塗り重ねていくうちに黒くなったなど、様々な説がありますが、結局のところはまだはっきりとしたことはわかっていないということでした。

第十六回

『鯉山のタペストリーについて』

島田 崇氏(鯉山誌編纂)

山本 彰彦氏(鯉山保存会理事長)

鯉山の財団法人四十五周年記念誌出版にあたり、昭和五十五年当時の理事長、野口安左衛門氏と共に鯉山誌を編集された島田崇氏がその任を引き受けられたことから、その中でのエピソードをお話頂くことになりました。

鯉山のタペストリーについては元理事長の野口氏が心血を注いで調査をされたことがあり、そのときに一緒にまとめられたのが島田氏です。

島田氏によると、祇園祭の魅力は異国情緒に満ちていることで、染織品約九百点の三分の一は渡来品、中国、朝鮮がそのほとんどを占めているそうです。他にはインド、エジプト、ペルシヤがあり、ヨーロッパのものは珍しかったようです。



鯉山のタペストリーはヨーロッパから来た羊毛です。羊毛をかけたのは、函谷鉾が最も早かった(一七二二年・享保三年)ようで、

柄については、旧約聖書からの題材(禁制の宗教図)だったのですが、当時はわからなかったため、そのままになっていました。

その後、鯉山(一七九六年・寛政六年)が、文化・文政になって鶏鉾(一八〇〇年)や白楽天山、霞天神山がタペストリーをかけた。

大津祭、長浜祭にも同様のタペストリーがあり、どのように日本に入ってきたのか、どのくらいの値段だったのか、どんな風に広がっていったのか、謎解きのようにお話を頂きました。

山本理事長からは、現在のお祭りについてうかがいました。かつては後祭で静かなお祭りだったのが、変わってきたとおっしゃいます。お町内も5、6軒だったところにマンションが建ち、多くの方が住まわれるようになりました(一三五軒)。

新しい方々の参加も考えて、お祭りの執行方法も新しくされました。鯉山保存会とは別にマンションの方々を中心にした鯉山友の会が発足し、お祭りに興味をもっていらっしゃる方々の協力を得ているということです。

お手伝いや不寝番、ごみ掃除への参加、お祭り以外にも鯉山を通じてお茶、お花のサークルが出来、活動をされています。

新旧一緒になって和やかに、楽しくお祭りの執行をされている鯉山保存会と友の会、お祭りを通じた輪はますます広がっていくことでしょう。

記 小島

委員会活動

社会福祉協議会

四月二十二日いきいきサロンが元明倫幼稚園遊戯室にて開催されました。

今回は、御池柳馬場に新設された「御池地域包括支援センター」より、主任介護支援専門員の細谷氏と社会福祉士の和泉氏をお二方をお招きして高齢者支援のいろいろな仕組みの説明をいただきました。



会場は予想を上回る参加者で現実的な質問が出たり、後藤さんの指導により全員で座ったまま出来る健康体操をした

りと活発な雰囲気になりました。昼食には会場で松葉さんが寿司をにぎり、てんぷら等もいただき思わぬご馳走に舌鼓を打ちました。

午後には倫の会と共に童謡を合唱して会場は和やかなうちに閉会となりました。いきいきサロンの運営を支えておられる寺江さん始め関係者の方々お疲れ様でした。

記 佐藤



### ◆防犯推進委員協議会

防犯推進の活動目的は「安全・安心の街づくり」にあり、地域安全ニュースの編集・伝達、防犯に関する意見・要望のとりまとめ、防犯座談会・防犯講習会などの開催、危険箇所・防犯灯などの点検、防犯パトロール、各種地域安全活動への参加呼びかけ等を適時に行っています。私たちが大切にしていることは、義務感で活動するのではなく、「楽しく」をモットーに、防犯意識の高揚を目指し活動をしています。

委員は8名で月1回全員集合して欠席者もなく、雨の日も風の強い日も、「防犯パトロール」と書かれた反射板の付いたタスキをかけ、パトロール灯を片手に活動を続けています。



活動を通して今まで気付かなかつた街の一面を知り、また街の変化に関心を覚えます。同じ意識をもつ委員との語らいは楽しく、年に数回の食事会の賑わいが、良き委員に恵まれたこと証しです。

委員の望みは、この楽しいグループの輪を広げることにあります。「人のお役に立ちながら、自分の住む街を知りたい」と思われる方は、ぜひ防犯推進協議委員会に参加下さい。

メンバーは那須(橋弁慶)、奥村(炭之座)、山田(百足屋)、川勝(姥柳)、大橋(御倉)、向井(骨屋)、杉田・浅見(鯉山)の八名です。  
記 浅見(鯉山町)

### ◆消防分団



平成十八年四月一日より、分団長に吉居章一氏(写真、骨屋町)が就任されました。吉

居氏は平成七年より分団活動に従事されている十二年目のベテランです。前団長の和田氏、前々団長の永井氏の退団により分団員数が減少しています。(現在十六名)文化財の多い明倫学区を火災から守る為にも入団をお願いいたします。

### ◆緊急出勤録

- ・一月十三日午後十時九分 山伏山町 七名出勤 発報事故
- ・二月四日午後十一時五十九分 鯉山町 三名出勤 発報事故
- ・二月七日午後八時四十五分 御倉町 五名出勤 発報事故

\*発報事故 火災報知器などの誤作動による通報事故のこと

### ◆中京消防団総合査閲

五月二十一日(日)午前七時より島津グラウンド(御池通春日西入る北側)で行われます。皆様応援をお願いします。

### ◆祭事委員会

本年十月二十二日、平安神宮の時代祭が執行されます。京都千二百年のロマンを語る美しい歴史絵巻です。

今年の明倫学区は、老番大将を出す当番になっており、秋の京洛を鎌倉時代の流鏝馬(やぶさめ)列の先頭で威風堂々闊歩します。

時代祭は、市民一人一人が主役。明治二十八年に生まれて以来、市民の祭りとして息づいてきました。東京遷都後に疲弊した京都を鼓舞激励した心意気が時代祭です。

流鏝馬列は、承久三年、後鳥羽天皇が朝威回復のため催されたものを模した狩装束の射手武士列。豪華絢爛、古来より伝わる技法による衣装で行進します。

明倫校にて行列の準備をすることに為っています。学区こそぞつてお祭りをお楽しみ且つ御協力ください。是非応援をお願いします。 中尾

### ◆交通安全委員会

### ◆少年補導委員会

### ◆防犯推進委員協議会



三委員会共同で高倉小学校の児童のポスターを、三月中旬に二週間、学区内のお宅の前に展示して、交通安全その他のマナーをアピールしました(中京区にぎわいのまちづくり支援事業)。

### ◆明寿会

毎月一回二条城の清掃をしています。お手伝いのできる方は五藤(西錦小路町)までお申し出下さい。日程は以下の通りです。

- ・六月六日(七・八月はお休み)
- ・九月六日、十月六日、十一月六日
- ・十二月六日

### ◆婦人会

今年度の取組予定

- ・七月二十三日 高倉祭り盆踊り参加 子供たちといっしょに輪になって踊ります。
- ・九月 敬老会のお手伝い。
- ・十二月 講習会(花等)、お餅つき手伝い等、予定しています。詳しくは町内回覧板等でお知らせします。

### ◆体育振興会

今年度の取組予定

- ・五月十四日 中京区民ソフトボール大会参加
  - ・七月二十三日 高倉祭りゲーム手伝い
  - ・八月十二日 高倉プール当番
  - ・十月八日 明倫運動会
  - ・十二月 餅つき
  - ・三月十八日 ボウリング
- 去る三月十二日、ボウリング大会が百二十五名の参加者により盛大に開催できありがたうございました。

北川

### ◆明倫自主防災会

日頃は何かと御協力頂きまして有り難うございます。

さて、新年度を迎えまして役員会(各町内の部長、副部長)を来る五月二十日(火)午後七時~八時三十分(元明倫幼稚園遊戯室(芸術センター前))にて開きます。

議題として『他学区の活動状況と今年度の活動計画について&その他』を中心に、皆様の意見又は要望を当会のスローガンでもある、

「災害に強いまちづくり」に役立てていきたいと思っております。

自主防災会 副会長 道家秀明

読者のページ

連絡先: 長谷川 明 (釜座町)  
 (TEL) 221-3737  
 (FAX) 221-4406  
 kaigadou@yahoo.co.jp

気楽に太極拳を始めませんか?



「チーシ、イエマーフェンゾン・・・」男女二十数名が、田水先生(興友太極会)の指導のもと、太極拳を楽しんでおります。



日常生活であまり使わない筋肉を準備体操で身体をほぐし、テープの音楽が流れるなか、「太極拳入門」「簡化二四式太極拳」を演武してます。

中京保健所の 保健師・藤川さん

は「加齢とともに神経障害などが出て、足腰が弱くなり転びやすくなる」転ぶと骨が折れたり、筋肉を傷める↓安静にする事で閉じこもりや寝たきりになってしまう。」と言っておられます。

バランス感覚が良くなり転倒防止のために。世話役の向田さんは「太極拳教室当初に比べたら、みんな姿勢が良うなつたはるなあ。」気の流れが良くなり心と身体が癒されます。美容と健康のためにも、気楽に太極拳をいっしょに楽しみませんか。

毎月第一、二、三木曜日の午前十時から十一時三十分頃まで、元生祥小学校(富小路通六角下る)の体育館で行っております。

お問合せは、中京区老人クラブ連合会 サークル太極拳部まで、会費は月三回で一、〇〇〇円です。皆様の参加をお待ちしております。

鯉山町 赤井又三郎

### DEKIGOTO

#### ★中京区卓球大会(二月二十二日)



明倫卓球部は、一部(上級)と三部(初級)に出場し、三部は優秀賞に輝きました。

#### ★ボーリング大会(三月五日)

今年も百二十五名の参加者があり、すっかり新旧住民に定着したボーリング大会が嵯峨ニックで開催され、ストライクの賞品めざして大いに盛り上がった大会でした。



410点 (3ゲームトータル)

男子優勝 浅田英夫氏(骨屋町)  
502点 (3ゲームトータル)  
女子優勝 山内敬子氏(観音堂町、写真)

### ♪ペトロフコンサート

第八回(二月二十九日)

「合唱とピアノ」

京都音楽教育の会合唱団



指揮 工藤吉郎  
ピアノ独奏 大西新吾

ボヘミア民謡やモーツァルト魔笛のアリアなど親しみやすい合唱曲に、大勢の聴衆から盛大な拍手が送られました。また、ペトロフピアノの存在をを発見したエピソードも披露されました。講堂を横長に使った配置も新鮮に映りました。



第七回(四月一日)「尺八とピアノ」のデュオ



お馴染みの植村さんのピアノ独奏によるラフマニノフ、プーランクという今までとは違っ

た曲目の演奏と、岩本みち子さんの尺八による「福田蘭童作 尺八名曲集」という大変珍しい組み合わせのコンサートでした。違和感の無い響で音楽の持つ魅力に引き込まれる演奏になりました。

長谷川

編集後記

確か、編集後記を書くのは初めてじゃないかな？編集もしてないのに、

「後記」を書くなんて…。

今回は総会の日時がずれたために、締切も大幅に延ばし、編集スタッフにはとてもご迷惑をおかけしました。すみません。

学区の世帯過半数を超えた、新しいマンションの人々が「明倫ニュース」の編集に加わって、より新しい風を感じさせて欲しいモノです。

井上成哉

京都芸術センター スケジュール

■伝統芸能

①継ぐこと伝えること 32「現代によみがえる古典—上方舞」

伝統芸能の「今」を伝えるこの企画。本年度は、「現代によみがえる古典」というテーマで、古典の演目が、いかに工夫され、新たなかたちで現在に存在するのかに注目します。

日時：6月10日(土) 19:00 開演

会場：講堂

出演：榎茂都梅衣華(うめもと うめきぬはな)

上村和歌子(うえむら わかこ)

司会：宮辻政夫(毎日新聞社専門編集委員)

チケット：一般前売 1,800円

当日 2,000円

高校生以下 500円

京都芸術センターチケット窓口まで。

②「百花謡乱—千手」(能の素謡の企画)

企画・構成：味方團(観世流能楽師シテ方)

ナビゲーター：田茂井廣道(同上)

日時：7月3日(月) 19:00 開演

会場：大広間

出演：河村晴道、吉浪壽晃、大江信行、味方團、田茂井廣道

入場料：1,000円(当日支払い)

お電話で事前にお申し込みください。(電話：075-213-1000)

■演劇

①五反田団公演「ふたりいる景色」

日時：5月25日(木)・26日(金) 19:30

27日(土)15:00 / 19:30

28日(日)15:00

\*5月26日終演後アフタートークあり

会場：フリースペース

作・演出：前田司郎(五反田団主宰・劇作家・演出家)

出演：金替康博(MONO)、後藤飛鳥(五反田団)、

立蔵葉子(青年団)、望月志津子(五反田団)

チケット：1,500円

五反田団(090-2915-4994)への電話予約のみ

②黒テント「ど」

日時：6月2日(金) 19:00 開演

会場：講堂

演出：山元清多

出演：内沢雅彦、木野本啓、宮崎恵治 ほか

チケット：一般前売 3,500円、学生前売：2,500円、当日 4,000円

■音楽

○明倫レコード倶楽部其の19「夏にふさわしい音楽集」

ヘンデルの「王宮の花火の音楽」、コルサコフの「シェヘラザード」など、暑い夏を吹き飛ばすにふさわしい?!名曲をどうぞお楽しみください。

日時：7月9日(日) 14:00 開演

会場：講堂

司会・進行：亀村正章

料金：500円

申込み：催し名・住所・氏名・電話番号を明記の上、電話、FAX、E-mail

いずれかの方法で、芸術センターまで事前にお申し込み下さい。先着順。